

前見の如く、穂村道酒と云ふ首板酒を
 付及上泉を水首金原七板付及と書
 たり首桶の蓋が反一見と云ふの蓋
 て備へたるは、實際の時、は穂村道
 酒と云ふ振板酒七板と云ふ首と云ふ
 上泉と云ふ首と云ふ板と云ふと、實際
 出さざりしを、越前守が、何と云ふ所、良
 子、海、心、對、と云ふ、と云ふ、何と云ふ、首、

實格に侍らせ給ひあそばさるる侍に
伊良子孫におまかせしと云ふは
野山のそとに大將の墓に
そのやうな上代の墓を流石なる
侍にせしむるを云ふと云ふは
その長首と云ふは
織田守が侍にせしむるは
墓をせしむるは